

2023年度新入生ガイダンス

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻

学務課大学院係

052-744-2431・2422・2440

5223(内線専用)

med@adm.nagoya-u.ac.jp

目次

1. 本学の方針コロナウイルスへの対応について
2. 学内構成員向けサービスの設定について
3. カリキュラムについて
4. 提出物について

目次

1. 本学の方針 コロナウイルスへの対応について
2. 学内構成員向けサービスの設定について
3. カリキュラムについて
4. 提出物について

1. 本学の方針 コロナウイルスへの対応について

マスクの着用は屋内, 屋外を問わず, 個人の判断に委ねることとします。
ただし、病院内は引き続きマスク着用をするようお願いいたします。



今後の方針が変更となる可能性があります。
機構メールアドレスと医学系研究科HPの「お知らせ」を通じて行いますので、必ずご確認をお願いいたします。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical J/graduate/notice/>

COVID-19に感染／感染の可能性が高い場合、必ず以下の①②両方に連絡し、指示に従って下さい。

①名大 保健管理室(東山キャンパス)

メール:hokekan@htc.nagoya-u.ac.jp

②医学系研究科学生専用緊急連絡先

メール:med-student-covid@adm.nagoya-u.ac.jp

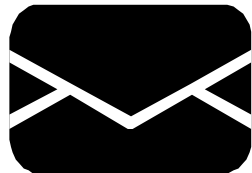
目次

1. 本学の方針 コロナウイルスへの対応について
2. 学内構成員向けサービスの設定について
3. カリキュラムについて
4. 提出物について

2. 学内構成員向けサービスの設定について

機構アカウント(THERSアカウント)および名大IDについて

各学生に機構ID・機構アカウント・機構メールアドレス・名大IDが発行されます。
機構ID・アカウントは主に以下のシステムへログインする際に必要となります。



機構メールアドレス



Microsoft Office 365



学内システム

2-1. 機構アカウント(THERSアカウント)について

【重要】学生証用写真貼り付け台紙の提出前に台紙の整理番号10桁を控えてください。3月29日以降のアカウント確認時に必要となります。



機構アカウントのオンライン通知について

Check your THERS account online

入学後に各種認証に利用する機構アカウントを3月29日(水)にオンラインでお知らせします。機構アカウント確認後、続けて名大IDの確認を行ってください。

なお、学部から大学院に進学するなど、すでに機構アカウントおよび名大IDを所有している方につきましては、現在お使いの機構アカウント、名大IDをそのまま使用してください。以下、本通知文に記載の【★機構アカウントアカウント確認手順】の対応は不要です。3月29日(水)以降速やかに以下リンク先の“ステップ1: 新入生情報セキュリティ研修”及び“ステップ3: 年次情報セキュリティチェック”のみ実施してください。

https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/setup_info_for_new_members.html (QRコードは③を参照)

【★機構アカウント確認手順】

①以下リンクにアクセスし、アカウント開示番号と生年月日を入力して“アカウント開示”をクリックします。

※機構アカウントの公開期間は4月7日(金)までです。

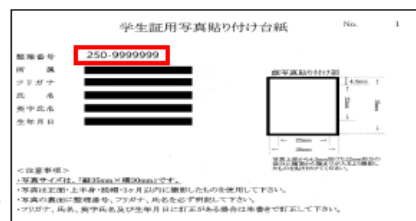
<https://sak-sak.net/app/pass/nagoyau> (QRコードは右記参照)



アカウント開示番号は“学生証用写真貼り付け台紙”に記載されている“整理番号”のハイフンを外した数字を入力してください。(右の例のアカウント開示番号は2509999999)もし上記情報を入力しても機構アカウント確認画面が開かない場合、受験番号、氏名等を明記のうえ

教育企画課学務情報係までお知らせください。

gakumu-support@adm.nagoya-u.ac.jp



必須先	文字種
試験	一桁数字 (前期日程)
学生番号	00000
機構アカウント	00000
初期パスワード	00000

②左図のように学生番号、機構アカウント、初期パスワードが表示されます。必ず手元に控えておいてください。

③画面に「新入生/新任教職員のための情報環境セットアップ案内」ページへのリンクが掲載されていますので、アクセスして、セットアップ(機構アカウントおよび名大IDの有効化の手続き)を行ってください。パスワード変更のステップがありますが、設定した機構アカウント、名大IDのパスワードは必ず控えておいてください。

https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/setup_info_for_new_members.html (QRコードは右記参照)



機構アカウントのオンラインでの公開期間は4月7日(金)まで

※ログインできない場合は、学生証と一緒に機構アカウント通知書(紙)をお渡しします。

受取期間:4月10日(月)~12日(水)

2-2. 機構メールアドレスについて

大学院学生に対する各種重要な通知および連絡は、各学生の機構メールアドレスへ送信します。

必ずご自身の機構メールアドレスの設定を行い、定期的に確認してください。

機構メールアドレス例

tokai.taro.x9@s.mail.nagoya-u.ac.jp

姓 名 数字 student



機構メールアドレスは@medのメール(鶴舞のアドレス)ではありません。

2-3. 各種設定について

下記サイトにアクセスし、各自設定を行ってください。

新入生/新任教職員のための
情報環境セットアップ案内

• https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/setup_info_for_new_members.html



機構メールアドレス
利用設定

• <https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersmail/>



問合せフォーム: <https://thersac.icts.thers.ac.jp/hc/ja/requests/new>
メールアドレス: acct-help@g.thers.ac.jp

目次

1. 本学の方針コロナウイルスへの対応について
2. 学内構成員向けサービスの設定について
3. 博士4年間のカリキュラム・修了要件について
4. 提出物について

3. 博士課程4年間のカリキュラム・修了要件について

2023.4

2027.3



1

単位取得 合計30単位以上

D3の3月末をめぐりに取得

2

大学院
研究発表会

対象学生: D3・D4

実施月: 6月・11月(予定)

3

学位申請

一流の欧文誌から
アクセプトを得る

3. 博士課程4年間のカリキュラム・修了要件について

1. 単位取得 合計30単位以上

主科目

- ○○○○セミナー 10単位
- ○○○○実験研究 6単位

副科目

- セミナー10単位以上(選択必修科目)

基礎科目

- 基盤医学特論 2単位
- 基盤医科学実習 2単位

主科目

- ○○○○セミナー 10単位
- ○○○○実験研究 6単位

- ご自身が入学された専門分野のセミナーおよび実験研究が主科目となります。

例: 消化器外科分野の方

主科目: 消化器外科学セミナー・消化器外科実験研究

- 所属研究室での研究活動、実験、カンファレンスへの参加、研究レポート等、在学中の4年間を通して行った研究活動に対して、修了前に、指導教授から単位認定される。

特徴あるプログラムを4コース以上にわたり、
合計20回以上受講しなければならない

特徴あるプログラム

主科目16単位を認定してもらうための前提条件

1. CIBoG産官学連携プログラム
2. 医薬統合プログラム
3. ニューロサイエンスコース
4. キャンサーサイエンスコース
5. がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
6. On the jobトレーニングプログラム(※事前申し込み必要)
7. トランスレーショナルリサーチコース
8. 医学英語プログラム(※事前申し込み必要)
9. CIBoG/AI-MAILs医療行政プログラム(※事前申し込み必要)
10. CIBoG/AI-MAILsオミクス解析学プログラム
11. CIBoG/AI-MAILs生命医療データ学プログラム
12. CIBoG/AI-MAILs メディカルAIプログラム
13. CIBoG生命科学基礎

4コース以上にわたり、
合計20回以上受講して
ください

【履修方法】 6, 8, 9以外は事前申し込み不要。
日程表は、以下のHPからご確認ください。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/tokupro/



【受講認定】 受講後、講義の実施責任者が「特徴あるプログラム履修票」に押印。印、日付のないものは、認定不可。(ただし、オンライン受講除く)

※注意

- 3年終了時までに大学院係に必ず提出してください。
- 特徴あるプログラム履修票の再発行はできません。

副科目

セミナー10単位以上(選択必修科目)

副科目として履修する科目については、指導教授または、その専門分野の教授と相談してください。

【副科目の履修条件】

		主 科 目		
		基礎 医学 領域	臨床 医学 領域	統合 医薬学 領域
副 科 目	基礎医学 領域	○	○	○
	臨床医学 領域	○	×	○
	統合医薬学 領域	○	○	×

【登録方法】

シラバス冊子9ページ「学修計画書」

● 提出方法:
指導教員、副指導教員の承認印を得て、学務課大学院係窓口へ提出

● 提出期限
4月20日(木)
締切厳守

【提出締切日】
2023年4月20日(木)

大学院医学系研究科 学修計画書 (2023年度)

専門分野	指導教員(教授)	氏 名	連絡先 (内線・携帯)

研究課題

臨床医学領域学生の基礎医学領域・
統合医薬学領域での専門分野名

授業科目	単位数	担当教員(教授)	承認印
主 科 目	セミナー	10	
	実験研究	6	
	セミナー	10	
副 科 目			
基 礎 科 目	基礎医学特論	2	
	基礎医学科学実習 (ペーパードラッグ)	2以上	
	4コマ以上		
合 計	30 以上		

※履修科目を決め、各授業担当教員(教授)の承認印を得て、期日までに大学院係へ提出して下さい。
※提出前にコピーをして保管下さい。
※履修科目は、授業科目一覧より選択し決定して下さい。

基礎科目

基盤医学特論
基盤医科学実習

2単位
2単位

基盤医学特論(トクロン) 2単位

【履修方法】 事前の申請は必要なし。毎月HPに受講案内が掲載されるため、各自確認して受講。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical J/graduate/class/tokuron/>

「医学系研究科 基盤医学特論専用Google カレンダー」を参照。
(設定方法は別紙参照)



【単位】 各専門分野が基盤医学特論用に開講する講義を、原則として、**入学から2年以内**に**15回以上**受講。

【受講認定】 受講後、講義の実施責任者が「基盤医学特論履修票」に押印。
印、日付のないものは、認定不可。(ただし、オンライン受講除く)

※注意

- **15回以上の中にPremium Lectureを1回以上含むようにしてください。**
- **履修票に年月日の記入および実施講座の長の印がない場合には、無効です**
(オンラインの場合を除く)

基礎科目

基盤医学特論
基盤医科学実習

2単位
2単位

基盤医科学実習(ベーシクトレーニング) 2単位

【履修方法】 Web上で事前の申請が必須。
一学期に申し込めるコースは最大4コースまで。



- 春学期分申込期間:毎年4月1日～4月30日
- 秋学期分申込期間:毎年8月1日～8月31日

【単位】 0.5単位/1コース 4年間で最低4コースの受講が必要。
【受講認定】 各コース履修後は、必ずウェブアンケートを行ってください。

※注意

- 同じコースの2回以上の履修は修了要件となりません。
- MD・PhDコースの学生向けにスーパートレーニングコースを実施しています。
- 日時や場所の変更、受講者調整などは研究科HPより連絡します。

(注意) オンラインで実施される「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」の受講方法について

・一部の講義はオンラインで実施します。

開講日の前週金曜日に大学院系からのメール「【med-all通知(Coming Week's Lectures)】TKR&TPRO 特論/特プロ開講通知」にてURL等をお知らせします。

【出席確認方法について】

(オンラインでの受講の場合のみ。対面の場合は印鑑をもらってください。)

○「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」のプレミアムレクチャー

Zoomでの受講後に、TACTへの小テスト回答により出席を確認します。

補足資料9ページから確認して下さい。

カードへは受講日と「Zoom」等、オンラインで記載したことが分かる旨の記載をして下さい。

○「基盤医学特論」(プレミアムレクチャーを除く)

実施する講座により出席確認方法が異なります。

授業中でのアナウンスに従って下さい。

基盤医学特論

特徴あるプログラム



← プレミアムレクチャー

倫理教育について

(1) 研究コンプライアンスプログラム【医学系研究科へ入学された方全員必須】

このプログラムは、医学系研究者に求められる研究倫理に関するリテラシーを養成し、

人を対象とする臨床研究の研究計画や研究マネジメントで高い次元での貢献する能力を育成することを目指します。2部から構成されます。

第1部は、臨床研究の倫理に関する事項を扱います。2014年、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針が策定され、また2015年、名古屋大学医学部附属病院が臨床研究中核病院として承認され、臨床研究における倫理がますます重要になっています。MD以外の学生にとっても生命倫理は必修のリテラシーです。

第2部は、研究不正の防止に関する事項を取り上げます。研究に関する不祥事が度々報道され、研究者に対する国民の信頼が損なわれており、研究不正の防止は、喫緊の課題となっています。

単位認定はありませんが、本プログラム未受講の場合は、学位申請ができません。

※2023年4月下旬または5月上旬に機構メールアドレスに受講方法を通知します。

(2) Epigeum-eラーニングコース【名古屋大学へ入学された方全員必須】

(補足資料P7)

このプログラムは、文部科学省が定める「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に対応して、学生に対する研究倫理教育を実施するものです。

3. 修了要件について

2. 大学院研究発表会

対象学年:D3・D4

(修了または満期退学するための必修要件)

課程博士の学位予備審査会であり、学位の研究について広く討論できる機会を提供し、大学における研究の発展を図るとともに、大学院在学中の研究活動の活性化と大学院教育の充実を目指すものです。6月と11月の年2回開催しますので、修了または満期退学を予定している者は、必ず発表を行って下さい。

3. 学位申請

大学院研究発表会後に大学院係で、申請手続きを別途行ってください。

学位申請に関しては、下記サイトを参考にしてください。

(トップページ→大学院教育→学位申請手続→課程博士)



https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/

目次

1. 本学の方針コロナウイルスへの対応について
2. 学内構成員向けサービスの設定について
3. カリキュラムについて
4. 提出物について

4. 提出物について

提出物	〆切
1. 学修計画書(シラバスP.9)	4月20日(木)
2. 基礎医学領域・統合医薬学領域における研究指導計画書 (臨床医学領域科目を主科目とする方のみ)	4月20日(木)
3. ベーシックトレーニング春学期分申込締切	4月30日(日)
4. EPIGEUM e-learningコース (機構メールアドレスに送信)	5月末まで

※重要※

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 学生証、機構アカウント通知書の受取 | 4月10日～12日 |
| 2. 機構アカウント・メールアドレスの設定 | 至急 |
| 3. 春季入学時アンケート回答 | 至急 |
| 4. 健康診断 | 4月11日よりWEB予約開始 |

「健康診断」について

- 附属病院で医員の身分をお持ちの方
→ 7月の健康診断を鶴舞でご受診いただきます。
(変更の可能性あり)
- 社会人大学院生で名大附属病院以外で勤務の方
→ 2023年1月から2023年12月中に職場で受けた
健康診断結果を2024年1月頃までにご提出下さい。
- 大学院生の方(医員の身分なし)
→ 東山地区保健管理室での健康診断を必ずご受診ください。
健康診断にはWEB登録が必要です。
**WEBで予約の上、検診受付票を必ずプリントアウトして、
学生証とともに持参してください。**

以下、スライド補足資料

スライド11 補足説明

- 2023年4月に博士課程1年生として入学後、4年後の3月末(2027年3月末)で博士学位を取得して修了するために必要な要件は3つです。
 - **1点目:合計30単位の修得**
 - これは社会人入学生であるか、基礎系の研究室に入学されたかにかかわらず、全ての博士課程の学生は30単位を修得する必要があります。
 - **2点目:研究発表会**
 - 大学院での研究活動を通じて論文を執筆し、3年生と4年生を対象として毎年2回、6月と11月に行われる大学院研究発表会(学位予備審査会)で発表をしてください。4年間の間に発表しない場合は、留年が確定します。
 - **3点目:学位申請**
 - 学位申請をしなければ、博士学位を取得せずに必要な単位を修得し「満期退学」をしたことになります。4年生の12月末までには、必ず学位申請をしていただくということが修了の要件です。
 - 学位申請の要件については一流の欧文誌からアクセプトを得る等の要件があります。詳しくはHPをご覧ください。
 - 具体的な学位申請の方法については、年に1回、学位申請説明会を開催していますので3年生になられたときに、ご出席いただき、具体的な申請方法等の説明を聞いて下さい。
- ◆ **まとめ:医学博士を4年間で取得するためには、**
①30単位を修得すること、②大学院研究発表会を行うこと、③一流の欧文誌からアクセプトを得た上で学位申請を行うこと、になります。

スライド13・15 補足説明

大学院の各種案内・手続きについては研究科ホームページを参照のこと
https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/



1. 医学系研究科を修了(満期退学)するのに必要な
 単位数について

(1)主科目 16単位 (選択必修科目)

○○○○セミナー 10単位

○○○○実験研究 6単位

**※特徴あるプログラムを4コース以上にわたり合計20回以上
 受講しなければならない。**

(2)副科目 10単位以上 (選択必修科目)

ただし、基礎医学領域科目を主科目とする者は、
 学生の所属する専門分野以外の専門分野が開講す
 るセミナーを副科目とし、臨床医学領域科目を主科目
 とする者は、基礎医学領域科目又は統合医薬学領域
 科目を副科目とし、統合医薬学領域科目を主科目とす
 る者は、基礎医学領域科目又は臨床医学領域科目を
 副科目とする。

(3)基礎科目 4単位 (必修科目)

基盤医学特論 2単位

基盤医科学実習 2単位

以上、合計30単位以上必要です。

2. 副科目について

副科目として履修する科目については、指導教授または、その
 専門分野の教授と相談してください。

臨床医学領域科目を主科目とする者は、シラバスの「臨床医学
 領域専門分野に所属する大学院生の基礎医学領域・統合医薬医
 学領域における研究について」を参照の上、「基礎医学領域・統
 合医薬学領域における研究指導計画書」を作成し、**4月20日**

(木)までに大学院係へ提出してください。

副科目の履修条件

		主 科 目		
		基礎医学 領域	臨床医薬 学領域	統合医薬学 領域
副科目	基礎医学 領域	○	○	○
	臨床医学 領域	○	×	○
	統合医薬 学領域	○	○	×

主科目の前提条件である「特徴あるプログラムについて」

- ※特徴あるプログラム自身に、単位は付与されませんが、この特徴あるプログラムを終了しないと、16単位の主科目が認定されないということになっていきますのでご注意ください。
- 特徴あるプログラムは年間を通じ、1コースについておよそ5から10の講演が、当該プログラムの趣旨に沿って開催されます。
- 履修方法は、「On the job」と「医学英語」は事前の予約が必要ですが、それ以外は予約や事前の履修手続きは不要。日程表を確認の上、ご自身の予定に照らして都合に合うものを選んでご受講下さい。
- 入学手続き日にお持ち帰り頂いた「特徴あるプログラム履修票」というピンク色のカードを必ず携帯し、講義の実施責任者から、印鑑をもらい、その印鑑を集めるという形で履修を進めていただきます。
- このカードは、入学時点から20回の受講が終わるまで同じカードをご使用いただきます。
- 20回の受講が終わったあとに、大学院係へご提出いただき、教育委員会での認定が下りますと、主科目の前提条件としての特徴あるプログラムの履修は完了ということになります。
- 12種類のコースがありますが、必ず、4種類以上のコースで20回以上受講するようにしてください。
- 3年間で20回以上履修いただくようお願いいたします。
- このカードの提出後、大学院係にて、全てのコースの開催日と実施責任者の印鑑を確認しています。
- 万が一日付の記入がない場合は、印鑑があっても、履修を認定することはできませんのでご注意ください。
- 特徴あるプログラム履修票への印鑑は、特徴あるプログラムの講義でしか押していただくことが出来ません(印鑑はオンラインでの場合を除く)。
- 名城大学で土日に開講される講義を受講し、特徴あるプログラムへ読み替える制度もありますが、2023年度春学期の名城大学の派遣は行いません。

● 「副科目」について

副科目の内訳は「セミナー10単位以上」です。

- 入学された方全て、ご自身の主科目に応じて、副指導教員からの研究指導を受けますが、この副指導教員は、全ての博士課程の学生が、入学後1ヶ月以内に決定することになっています。
- 副科目の選択方法
主科目が基礎系 → 基礎医学領域、臨床医学領域、統合医薬学領域いずれからでも選択できます。
主科目が臨床系 → 副科目に臨床医学領域の科目を選択することはできません。
基礎医学領域または統合医薬学領域を選択して下さい。
主科目が統合医薬学領域 → 基礎医学領域または臨床医学領域を選択して下さい。
- 登録方法: 学習計画書による提出 (**提出締切: 4月20日厳守**)
- ご自身の指導教授、こちらはご自身の専門分野の教授になります、および、副科目の副指導教授のサインと印鑑をいただき、学務課大学院係へご提出下さい。
- 新入生の方は全員ご提出いただくことになります。
- ※主科目が臨床系の方 シラバスP15の「臨床医学領域専門分野を専攻する学生の基礎医学領域・統合医薬学領域専門分野における研究指導計画書」を合わせて提出して下さい。
- どのような研究を行うのかについて、副指導教授を引き受けていただく先生とよくご相談いただき、ご自身の研究テーマを基礎の側面等から設定していただきご記入下さい。

スライド16・17 補足説明

4. 基礎科目の履修について

(1)「基盤医学特論 2単位」について

各専門分野が基盤医学特論用に開講する講義を、15回以上受講してください。

どの専門分野を受講しても構いません。

受講すると「基盤医学特論履修票」に受講確認として押印されます。原則として、2年以内に**15回以上**受講し、履修票を速やかに大学院係へ提出してください。**履修票に年月日の記入および実施講座の長の印がない場合には、無効となります(印はオンラインの場合を除く)。**

※15回以上の中にPremium Lectureを1回以上含むようにしてください。

実施日及び講義内容について

○「医学系研究科 基盤医学特論専用Google カレンダー」を参照ください。

設定方法は別紙を参照のこと。

○HPにも掲載しています。(HPトップ→大学院教育→授業案内「基盤医学特論」)

○**原則として事前の申込は不要です。**

各自の都合の良い講義を随時受講してください。

(講義によっては事前登録が必要です。開講通知を必ず確認して下さい。)

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/tokuron/



(2)「基盤医科学実習 2単位」について

各コースの履修については、HPを参照してください。(HPトップ→大学院教育→授業案内「ベーシクトレーニング」)

春学期分申込期間: 毎年4月1日～4月30日

秋学期分申込期間: 毎年8月1日～8月31日

○1コース0.5単位

○最低4コースの履修が必要

○MD・PhDコースの学生向けにスーパートレーニングコースを実施しています

○**同じコースの2回以上の履修は修了要件となりませんのでご留意下さい。**

○日時や場所の変更、受講者調整などは研究科HPにより連絡しますので、必ずHPで確認してください(HPTップ→大学院教育→授業案内「ベーシクトレーニング」)。

○各コース履修後は、必ず、ウェブアンケートを実施してください。



https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/basic-training/

「基礎科目」について

基礎科目の内訳は「基盤医学特論2単位」と「基盤医科学実習2単位」です。

「基盤医学特論2単位」について(補足資料2ページをご覧ください)

- 基盤医学特論は、特徴あるプログラムと非常に開講形式が似ているものになります。
- 各専門分野の先生方が、基盤医学特論用に開講する講義を15回以上履修いただくことになります。
- この15回は1年間でというものではなく、原則、在学している間に15回以上受講して下さい。
- 入学手続き日に持ち帰り頂いた「**基盤医学特論履修カード**」というオレンジ色の小さいカードを必ず携帯し、講義の実施責任者から、印鑑をもらい、その印鑑を集めるという形で履修を進めていただきます。
- 講義の案内が、医学系研究科のHPに一ヶ月ごとに掲載されています。
- ご自分の都合の合う時間帯に開講されている講義に参加し、講演後に実施責任者の印鑑を頂き、押印を15個以上、2年間で集めて大学院係へ提出して下さい。
- 15回の出席の内、1回以上はプレミアムレクチャーの出席が必要です。特論履修カード右下にプレミアムレクチャー用のスタンプ押印欄がありますので、プレミアムレクチャーを受けられた際はそちらに押印をもらうようにして下さい。
- Googleカレンダーの方を同期していただくと、突然、講演が中止になりましたとか、場所が変わりました、というようなお知らせも、そちらの方に可能な限り速やかに反映させるようにしておりますので、積極的にご利用いただければと思います(補足資料3ページ)。
- 特論とは別に、特徴あるプログラム開講情報についてもこのGoogleカレンダーよりご確認いただくことができます。

(注意) オンラインで実施される「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」の受講方法について

・一部の講義はオンラインで実施します。

開講日の前週金曜日に大学院係からのメール「【med-all通知(Coming Week's Lectures)】TKR&TPRO 特論/特プロ開講通知」にてURL等をお知らせします。

【出席確認方法について】

(オンラインでの受講の場合のみ。対面の場合は印鑑をもらってください。)

○「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」のプレミアムレクチャー

Zoomでの受講後に、TACTへの小テスト回答により出席を確認します。

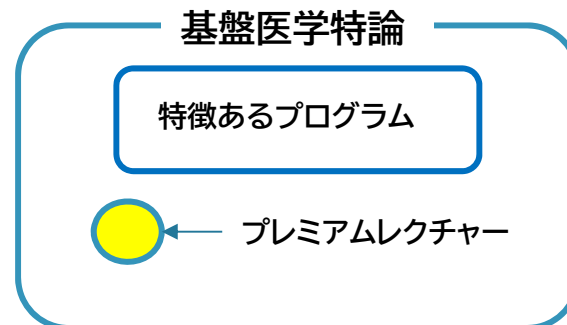
補足資料9ページからを確認して下さい。

カードへは受講日と「Zoom」等、オンラインで記載したことが分かる旨の記載をして下さい。

○「基盤医学特論」(プレミアムレクチャーを除く)

実施する講座により出席確認方法が異なります。

授業中でのアナウンスに従って下さい。



● 「基礎科目」について

「基盤医科学実習2単位」について(補足資料4～6ページ)

- 基盤医科学実習(通称ベーシクトレーニング)は、事前の申請が必要になる授業科目です。
- 1コースあたり0.5単位として認定され、4年間で最低4コースの履修が必要です。

※同じコース(年度ごとにコースNoは変わりますが、同じ担当教員のコース)を何度受けても、認定を受けられるのは、先に受けた0.5単位分のみです。

- この基盤医科学実習、通称ベーシクトレーニングは実習形式の授業です。実習形式のため、それぞれのコースを実際に担当される教員の研究室へ実習を受けに行くという形式がほとんどです。
- ベーシクトレーニングはWebで履修申請し、履修後のアンケート解答もWebで行っていただきます。毎学期ごとに履修登録期間が1ヶ月間あり、春学期分は4月、秋学期分は8月に申請をしていただきます。
- 年間約70コース程度の授業が開講されますが、一学期に申し込めるコースは最大4コースまでです。申込みの際には、希望コースごとに受講希望理由の記入が必須です。各コースは受講者制限があり、申込後に受講調整が行われます。申し込みには名大IDとパスワードが必要です。また、学外のLANを使用して申し込む際はVPN接続が必要です。

※VPN接続方法はベーシクトレーニング申し込みページ(【重要】2023年度 基盤医科学実習申込について／【Important】Registration for Basic Training Course in 2023)に記載がございます。

- 受講調整結果は、各担当教員より結果が出たものから順次機構メールアドレスと各コースのHPにて周知します。
- 情報セキュリティ研修等をまずは実施していただかないと、学内での各種ネット接続や機構メールアドレスが使用できませんのでご留意ください。
- 各コースの詳しい資料はHPの「【重要】2023年度 基盤医科学実習申込について」というページの下段にあるベーシクトレーニングシラバスというPDFをダウンロードして確認してください。